

教材3-A (1)

言葉の知識

次の部首名を書きましょう。

年

組

番

名前

〔へん〕

言 (話、語)

糸 (緑、絵)

〔つくり〕

文 (教、数)

冫 (利、別)

〔かんむり〕

艹 (筆、箱)

艹 (葉、薬)

〔にょう〕

辶 (通、連)

教材3-A(2) 言葉の知識

次の

年

組

番

名前

に入るふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

〔動物に関する慣用句〕

のひたい

〔意味〕たいへんせまい場所。

・とらぬ

の皮算用

〔意味〕まだ手に入らぬうちからそれをあてにして、あれこれと計画を立てること。

〔体の部分に関する慣用句〕

を長くする

〔意味〕期待してまちこがれること。

が売れる

〔意味〕有名になること。

教材 3 I A (3)

言葉の知識 ちしき

年

組

番

名前

○次の

には体の部分かんようくに関係する同じ言葉が入ります。ふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

を貸す か

が高い

をつっこむ

(1)

を打つ

(2)

を折る

(3)

がつながる

を焼く

にかける

をかしげる

○次の

には同じ言葉が入ります。ふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

に流す

よりだんご

の手も借りたい

(1)

いらす

(2)

をもたせる

(3)

にこぼん

を得た魚のよう

をそえる

をかぶる

教材3-1A (4)

言葉の知識

年

組

番

名前

○次の

には同じ漢数字が入ります。

ふさわしい漢数字を書き、ことわざを完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

(1) 石の上にも

年

早起きは

文の得

(2) なくて

くせ

転び八起き

(3)

足のわらじをはく

階から目薬

(4) つるは千年かめは

年

事休す

(5) 五十歩

歩

聞は一見にしかず

教材3-1A (5)

言葉の知識

○上の□に書かれた漢字の「部首」と、  
も考えて □ に二つ以上書きましょう。

の部首名を線でつなぎましょう。

また、その部首の入った漢字を他に

□ 年

□ 組

□ 番 名前

□

話

港

晴

住

板

秋

絵

にんべん

ごんべん

さんずい

いとへん

ひへん

のぎへん

きへん

□

□

□

□

□

□

□

教材3-1A (6)

言葉の知識

○上の□に書かれた漢字の「部首」と、  
も考えて

に二つ以上書き出しましょう。

□

の部首名を線でつなぎましょう。また、その部首の入った漢字を他に

□年

□組

□番 名前

□

花

国

顔

道

雲

門

おおがい

しんによう

くさかんむり

あめかんむり

くにごまえ

もんがまえ

□

□

□

□

□

□

教材 3-A (7)

言葉の知識 ちしき

年

組

番

名前

○ 次の文章に合う、様子を表す言葉を選んで書きましょう。

- ① 星が（きらきら・きらきら）かがやいている。
- ② 遊びのさそいを（きっかり・きっぱり）ことわった。
- ③ 見つからないように、（ぞろぞろ・そろそろ）歩く。
- ④ （すっかり・すっきり）夏らしくなった。
- ⑤ パンが（ふくら・ふらふら）と、やきあがった。
- ⑥ （じつと・ざっと）計算して、およその数を出す。
- ⑦ 何も食べていないので、おなかが（ぺらぺら・ペーペー）だ。
- ⑧ 友だちと（はっきり・ばったり）出会った。
- ⑨ 遠くの山が（のんびり・ぼんやり）見える。
- ⑩ つい（うっかり・がっかり）して、まちがえてしまった。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

教材 3-I-A (8)

言葉の知識

年

組

番

名前

次の  に入る言葉を、あとの

の中から選び、その番号を下の

に書きましょう。

(ア) 先生の話に  をかたむける。

(イ) みんなにほめられて  が高い。

(ウ) 君の努力には  が下がる。

(エ)  が軽い弟には、話せない。

(オ) この問題には  が立たない。

(カ) 失敗して仲間の  を引っ張る結果になった。

- ① 口
- ② 足
- ③ 耳
- ④ 頭
- ⑤ 歯
- ⑥ 鼻

年

組

番

名前

○次の

にふさわしい言葉を書き、似たような意味を持つことわざを完成させましょう。

(1)

に小判。  
こばん

に真珠。  
しんじゆ

どんなにすばらしいものでも、それがわからない人には、何の役にも立たないというたとえ。

(2)

の川流れ。

も木から落ちる。

何かの名人であっても、時には失敗することがあるというたとえ。  
しっばい

弘法も  
こうぼう

のあやまり。